

○ 意見書（案）に対する評価委員からの意見及び事務局回答

令和 5 年 月 日

上田市長 土屋 陽一 様

上田市公立大学法人評価委員会  
委員長 田村 秀

意 見 書 (案)

公立大学法人長野大学（以下「法人」という。）に係る第 2 期中期計画（案）（以下「中期計画」という。）について、地方独立行政法人法（平成 1 5 年法律第 1 1 8 号。以下「法」という。）第 7 8 条第 4 項の規定に基づく上田市公立大学法人評価委員会の意見は、下記のとおりである。

記

法第 2 6 条第 1 項の規定に基づき、法人が作成する中期計画については、概ね妥当と考えるが、次の方向性※1 を持ちながら、法人と上田市は※2 緊密に連携して大学運営に取り組むことを望む。 ※1

【要望事項】

- 1 学生の満足度をはじめ、客観的なデータやエビデンスの蓄積を図り、教育と研究の質の向上に努めること
- 2 ※3 数値指標の設定など、現状に満足せず、高い目標の実現に向けて、積極的※4 に取り組むこと
- 3 大学運営の透明性※5 を確保し、ガバナンスの強化に努めること
- 4 今後、設置が予定されている理工系学部については、優れた教員の確保、施設整備や制度改善※6、※7 など開設に向けて精力的に取り組むこと
- 5 研究推進の観点から行う外部研究資金の運用改善に関しては早急に検討し改善措置を講じること ※8

※1 言い回しの問題ですが、「次の方向性」「ことを望む」の方がはっきり言い切っている感があるいいのではないのでしょうか？

【事務局回答】文言を修正します。

修正前：次のような方向性

修正後：次の方向性

※2 市長に対する意見ということ、及び緊密に連携するためには、双方が連携に取り組む必要があることから、主語を、法人と市の 2 者にする方がいいのではないかと。

【事務局回答】文言を修正します。

修正前：法人は上田市と緊密に連携して

修正後：法人と上田市は緊密に連携して

※3 4項の指摘は、1項の指摘と近いので、2項にした方がいいのでは？

【事務局回答】項目番号を修正します。

修正前：4 数値指標の設定など

修正後：2 数値指標の設定など

※4 「挑戦的・弾力的」の意味は何でしょうか？高い目標実現に向けて指標を変更などに積極的に取り組む、という理解でいいでしょうか？

【事務局回答】御指摘のとおりです。文言を修正します。

修正前：挑戦的・弾力的

修正後：高い目標の実現に向けて、積極的

※5 「(運営)体制の透明性を確保」とは、具体的にどのようなアクションをすれば合格なのでしょう（抽象的なのと、「体制の透明性」というのはあまり聞かない語なので、意味内容を明らかにしておいた方ではないかと感じています）

【事務局回答】

透明性とは、制度の運営や組織の活動状況が、第三者にはっきりとわかるようになっていことであり、長野大学で不祥事が続いているため、大学運営の適切な情報開示を求める意味合いで、「透明性」を使用したいと考えております。ご指摘の文言は修正します。

修正前：大学運営体制の透明性を確保

修正後：大学運営の透明性を確保

※6 「優れた」を挿入することにより、単なる数あわせではないことが明確になると思います（修文要求のあった優れた人材確保のための人件費確保という趣旨にもつながる）

【事務局回答】文言を修正します。

修正前：教員確保や施設整備など開設に向けて

修正後：優れた教員の確保、施設整備や制度改善など開設に向けて

※7 「制度」とは、修文要求のあった資金の使い勝手の改善などを意味するものです

【事務局回答】資金の使い勝手の改善については、中期計画修正案を踏まえ、御協議をお願いいたします。

※8 外部資金にかかる中期計画は修正すべきと思いますが、今後のスケジュールが不明なので、それを踏まえた修正がない場合の意見書へのコメントを追記します（項目5）。

理工系にとって資金制度改善は重要な問題なのに、6年かけて検討することしかない、というのが大学の姿勢なら、理工系学部設置が大丈夫か不安に思います。

市役所は、その方針（検討すれば十分）を了承しているのでしょうか？

【事務局回答】御指摘いただきました外部資金の取扱いについて、長野大学と協議し、中期計画を修正いたしました。意見書への記載は、御協議をお願いいたします。